

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	在宅ケア環境小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	
設置期間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の住宅改修支援に関する各地の状況、最新動向の把握(通年) ・ケアマネジャー向け住宅改修研修用ビデオ、研修用ツールの開発(2004 年度) ・開発したビデオやツールを用いた研修のあり方の検討(2005 年度) ・住宅改修の効果・有効性の評価(2006~2007 年度) 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 児玉 善郎(日本福祉大学) 野口 祐子(聖学院大学) 橋本 彼路子(STUDIO 3) 阪東 美智子(国立保健医療科学院) 岡部 真智子(日本福祉大学) 糟谷 佐紀(神戸学院大学) 金子 勝明(群馬松嶺福祉短期大学) 北岡 敏郎(有明工業高等専門学校) 古賀 紀江(前橋工科大学) 鈴木 晃(国立保健医療科学院) 田中 正敏(福島学院大学) 野崎 勉(愛知工業専門学校) 橋本 美芽(首都大学東京) 蓑輪 裕子(聖徳大学短期大学部) 村上 良知(熊本県立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	在宅ケア環境情報WG(小委員会のホームページの管理・運営、関連情報の収集と発信)	
2007 年度予算	253,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s15/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 報告書『「理由書」標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究』(2008.3 未作成予定)
講習会	1. なし 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会「高齢者・障害者の住環境整備に対する支援の課題と展望」 (資料名) 同上 参加者数 50 名(予定) 2. 研究会「北九州すこやか住宅推進協議会による住宅改修の取組み」 参加者数 10 名 3. 見学会「福岡市営地下鉄七隈線」 参加者数 12 名
大会研究集会	1. なし 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「保険者の事前確認時の評価マニュアル」およびケアマネジャーの事後評価を可能とする「理由書作成支援ソフト」の開発提案 2. HP での報告書の公開および関連情報の発信
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 介護保険制度における住宅改修の評価に関する研究については、全国の保険者への郵送調査、2 市での実態調査、ケアマネジャーに対するアンケート調査、居宅介護支援関連機関と住宅改修支援専門機関の調査を行い、「保険者の事前確認時の評価マニュアル」およびケアマネジャーの事後評価を可能とする「理由書作成支援ソフト」の開発提案をした。 2. 介護保険改正以降の各地の動向の把握については、委員会の折に、各地の委員から研究・事例報告を行い、情報を交換した。 3. 高齢者住宅や住宅改修に関連した見学会の開催については、北九州で活動している NPO 法人を招いた報告会の開催、および福岡市営地下鉄七隈線の見学会を開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. 予算規模が小さいため、地方の委員の上京に伴う旅費の支出に限界がある。 2. 医療・保健・リハビリ分野などの専門職との連携が必須であるが、学会員でないために委員就任を求められず、委員会への協力を仰ぎにくい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。